

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 3月 19日

所属・職名	基盤教育機構 専任講師	氏名	藤野 和樹
研究課題	大学バドミントン授業受講者における技能課題及び要因の抽出		
研究キーワード	大学体育、PCK、バドミントン	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本研究では、大学バドミントン授業受講者における技能課題を明らかにすることを目的とする。</p> <p>具体的には、技能レベルを判別するテストを行い、それに基づき何が難しい技能と感じているか質問紙調査を用いて抽出する。また自由記述でその要因を調査し、テキストマイニングにより明らかにする。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文】</p> <p>大学体育バドミントン授業受講者における競技経験と技能レベルとの関係性，藤野和樹他，スポーツパフォーマンス研究，11号，2019年5月，査読有</p> <p>【発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン競技における新ルール下でのサービスの研究：1.15m サービス高に対する取り組み，日本体育学会第70回大会，2019/09，慶應義塾大学 ・大学体育バドミントン授業における技能ルーブリック，日本体育学会第70回大会，2019/09，慶應義塾大学 ・ADDIEモデルを用いた大学体育授業の再設計，第8回大学体育スポーツ研究フォーラム，2020/02，新潟医療福祉大学 <p>3. 主な経費</p> <p>統計分析を行うため，統計ソフトを購入したほか、関連書籍の購入や文具代に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>第8回大学体育スポーツ研究フォーラム 優秀発表賞（2020年2月）</p>			
(本文は1ページ以内にまとめること)			